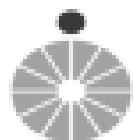


中学校における英語教育の 現状と今後の方向性

英語教育の在り方に関する有識者会議
(第5回 H26.6.18)



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

主な項目

- 新学習指導要領「外国語」の改訂内容
- 新教育課程開始後の現状と課題
- 優れた取組をしている中学校及び教育委員会等の事例
- 今後の方向性

改訂のポイント

- 目標: 4技能の総合的な育成
- 授業時数: 105時間 ⇒ 140時間(週4コマ相当)
- 指導する語数:
「900語程度まで」⇒「1200語程度」
- 言語活動の充実: 各領域で1項目追加
- 教材の題材の例: 「伝統文化」「自然科学」を追加

改訂の具体

<目標の3本柱>

- 言語や文化に対する理解
- 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度
- 聞くこと, 話すこと, 読むこと, 書くことなどのコミュニケーション能力の基礎

改訂の具体

<目標>

聞くことや話すことなど

(音声重視)



聞くこと, 話すこと, 読むこと, 書くことなど

(4技能の総合的な育成)

改訂の具体

一例

<言語活動（聞くこと）>

具体的な内容や大切な部分を聞き取ること



情報を正確に聞き取ること

（まとまりのある英語）
概要や要点を適切に聞き取ること

改訂の具体

<各学年の指導上の配慮事項>

第1学年

小学校外国語活動で育成された素地を
踏まえた指導

- ・コミュニケーションに対する積極的な態度 等

授業改善のポイント

=キーワード=

- ・発信
- ・4領域を統合した言語活動
(関連付けた)
- ・4技能の総合的な育成
(バランスよい)

授業改善のポイント

- ・文法はコミュニケーションの支え
- ・言語活動との一体化

- ・活用することを通して定着を図る

授業改善のポイント

＜状況調査等の結果から＞

○ 聞くこと

- 文形式ではなく内容に応じて応えること
- 多くの情報を整理して理解すること

○ 話すこと

- 自分の考えや気持ちなどが聞き手に伝わるように話すこと

授業改善のポイント


○ 読むこと

- いくつかの情報を整理して正確に内容を
読み取ること

○ 書くこと

- 単語の意味や働きから単語間の結びつき
を理解し、適切な語順で文を書くこと
- まとまった内容の文章を書くこと

できていること

- 教師と生徒の親和関係
- 授業を英語で展開 
- ペアワークなど「活動」中心

↑
外国語活動の成果か？

課題と考えられること

- 真の「コミュニケーション」？
- 考えながら「表現」？
- 教科書本文（内容）の扱い？
- 単元ゴール（付けたい力）？

↑
どんな「コミュニケーション能力」？

授業の実際と課題

～英語教育実施状況調査(H25)より～

① 教員の英語使用 ※発話の半分以上が英語

1年 44.5% (7,133人/16,027人)

2年 42.9% (6,759人/15,756人)

3年 41.2% (6,570人/15,933人)

授業の実際と課題

～英語教育実施状況調査(H25)より～

② 生徒の英語による言語活動 ※授業の半分以上

1年 52.5% (8,415人/16,027人)

2年 47.0% (7,407人/15,756人)

3年 43.1% (6,875人/15,933人)

授業の実際と課題

～英語教育実施状況調査(H25)より～

③ CAN-DOリストの形での学習到達目標設定

17.4% (1,681校/9,653校)

達成状況を把握 ※設定している学校のうち

66.8% (1,123校/1,681校)

授業の実際と課題

4技能について分析し、遅くとも来年度初めまでには公表予定

「平成25年度学習指導要領実施状況調査」 (国立教育政策研究所)

- ① 今回の改訂の基本方針に掲げられている事項の実現状況，課題等（思考力・判断力・表現力の育成，言語活動の充実）
- ② 従来より課題と指摘される事項，以前の調査で通過率の低い事項，経年比較の観点から把握・分析が必要な事項の実現状況，課題等

中学校での実践①

～有田市立初島中学校（和歌山県）～

- ① H25「拠点校」
- ② 学習到達目標の設定
- ③ 単元目標と学習到達目標との関連付け
- ④ 「考えながら話す」言語活動

中学校での実践②

～裾野市立東中学校（静岡県）～

- ① H25,26「学習指導実践研究協力校」
- ② 小学校・高等学校との連携
- ③ 連携を生かした授業改善
- ④ 高校と連携した学習到達目標の作成

教育委員会等での実践①

～島根県教育委員会～

- ① 学習到達目標の設定に向けた学校へのサポート
- ② 年間指導計画を見直す視点
- ③ 指導と評価の改善につなげる視点
- ④ 6月末に県内全校で作成完了(予定)

教育委員会等での実践②

～東京都教職員研修センター～

- ① H24,25「教科基礎調査研究」(中・高)
- ② 「英語で表現できる実践的な運用能力に関する系統表」(学習到達目標)作成
- ③ 単元計画例：系統表との関連を明記
- ④ 教師・生徒の英語使用度を高める工夫

教育委員会等での実践③

～沖縄県教育委員会～

- ① 「地区別ブロック型研究事業」(県独自)
- ② 県内の6教育事務所ごと
- ③ 県の統一方針を各地域に浸透
- ④ 月1回程度の主体的な研究会の実施

今後の方向性

～「英語教育改革実施計画」を中心に～

- ① 授業は英語で行うことを基本とし，内容に踏み込んだ言語活動を重視（中高接続）
- ② 学習到達目標に基づいた指導
- ③ 高校入試における4技能のバランス